

JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)～(8)は必ず記入してください。(9)～(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1) 担当支部:	北海道支部	(2) 記載者氏名:	長谷川雄助	会員番号:	6103	事務局整理記入欄	北海道-104
分水嶺区分:	P211林道～Y字路交差点(H126クオベツ山)	(3) 山行日:	2005年	1月	15日	(4) 天候	晴れ

積雪 1m～70cm

(5) 参加者氏名および会員番号

サポート要員氏名および会員番号

長谷川雄助	6103						
樋口みな子	13442						
横須賀邦子	13636						
三野裕輝	13996						
計				4名			
計				名			

(6) 山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

コース概略:	町道終点～クオベツ林道入口～右股林道～分水嶺～電波塔～△282.8～畑地～Y字路分水嶺												
アプローチ:	札幌→川端→クオベツ川林道												
地点コード	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)～(11)の特記 事項等との関係
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点	町道終点	川端	141	55	33.88	42	53	40.84	127		8:30		
分水嶺到達点	P211m林道	川端	141	55	36.07	42	53	18.45	211	9:00	9:05	B-4	(9)
	電波塔	川端	141	55	37.32	42	53	14.80	282	9:55	10:07	"	(8)
	P282三角点	川端	141	55	01.53	42	53	24.61	276	10:40	10:50	"	(7)
	林道交点	川端	141	55	00.44	42	53	39.28	185	11:05	12:08	"	(10)
分水嶺離別点	Y字路交差点	川端	141	54	24.63	42	54	05.86	124	13:40	13:50	"	(10)
歩行終了点	最終農家入口	川端	141	54	27.63	42	53	27.24	119	13:55		A-1	
総歩行時間(休憩時間を除く):											3時間55分		
分水嶺距離											5.5 km : その他距離 2.8 km		

(7) 三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点コードを記入してください	点名	等級	方位	保存 状況	特記事項
P282三角点	三角点			良好	ビニールパイプが立っているところの約70センチの雪を掘ったところ、雪に埋もれていた三角点を発見した。

(8) 人工施設の現況および地形図との相違点

分水嶺上に、20メートル四方のコンクリート製建物があり、屋上にパラボラアンテナ3基設置されている。

(9) 水および植生に関連した特記事項

分水嶺北東斜面にはアカエゾマツの植林地で、樹精は良好である。西南斜面は広葉樹林であるが、有用木は少なく、アオダモ、キハダ、ハリギリなどの小径木が多い。

(10) その他の特記事項

今回の分水嶺踏査地点は、クオベツ山から北西に延びる尾根が平野部に終わるところで、最後は平坦な畑地であるが、追分町、栗山町の町境界(分水嶺)の畑地に雑草や落葉松の生える小さな丘陵があり、わずかに分水嶺の痕跡を残している。踏査の最後は、町道のY字路交差点で終わった。

(11) 写真の添付:(有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明: 雪に埋もれた三角点

山行報告書(続き)
表面(1ページ目)に書ききれなかった事項を記入してください。



雪に埋もれた三角点